

生活文化スポーツ局指定管理者評価委員会

－ 次 第 －

日 時 令和4年8月1日（月曜日）

14時30分から17時40分まで

場 所 オンライン開催（Microsoft Teams 利用）

1 開 会

2 委員紹介

3 議 事

（1）指定管理者管理運営状況評価について

（2）所管局による一次評価の結果について

※ 終了後に休憩（15：10～15：20）

（3）指定管理者によるプレゼンテーション、質疑及び二次評価の審議

ア 海の森水上競技場

イ 夢の島公園アーチェリー場

ウ カヌー・スラロームセンター

（休憩 16：32～16：42）

エ 大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場

オ 東京アクアティクスセンター

4 閉 会

【資料】

- 1 生活文化スポーツ局指定管理者評価委員会委員名簿
- 2 対象施設及び指定管理者
- 3 指定管理者管理運営状況評価の流れ
- 4 所管局による一次評価結果報告
- 5 令和3年度の管理運営状況
- 6 生活文化スポーツ局指定管理者評価委員会評価シート
- 7 都立体育施設等指定管理者評価委員会設置要綱

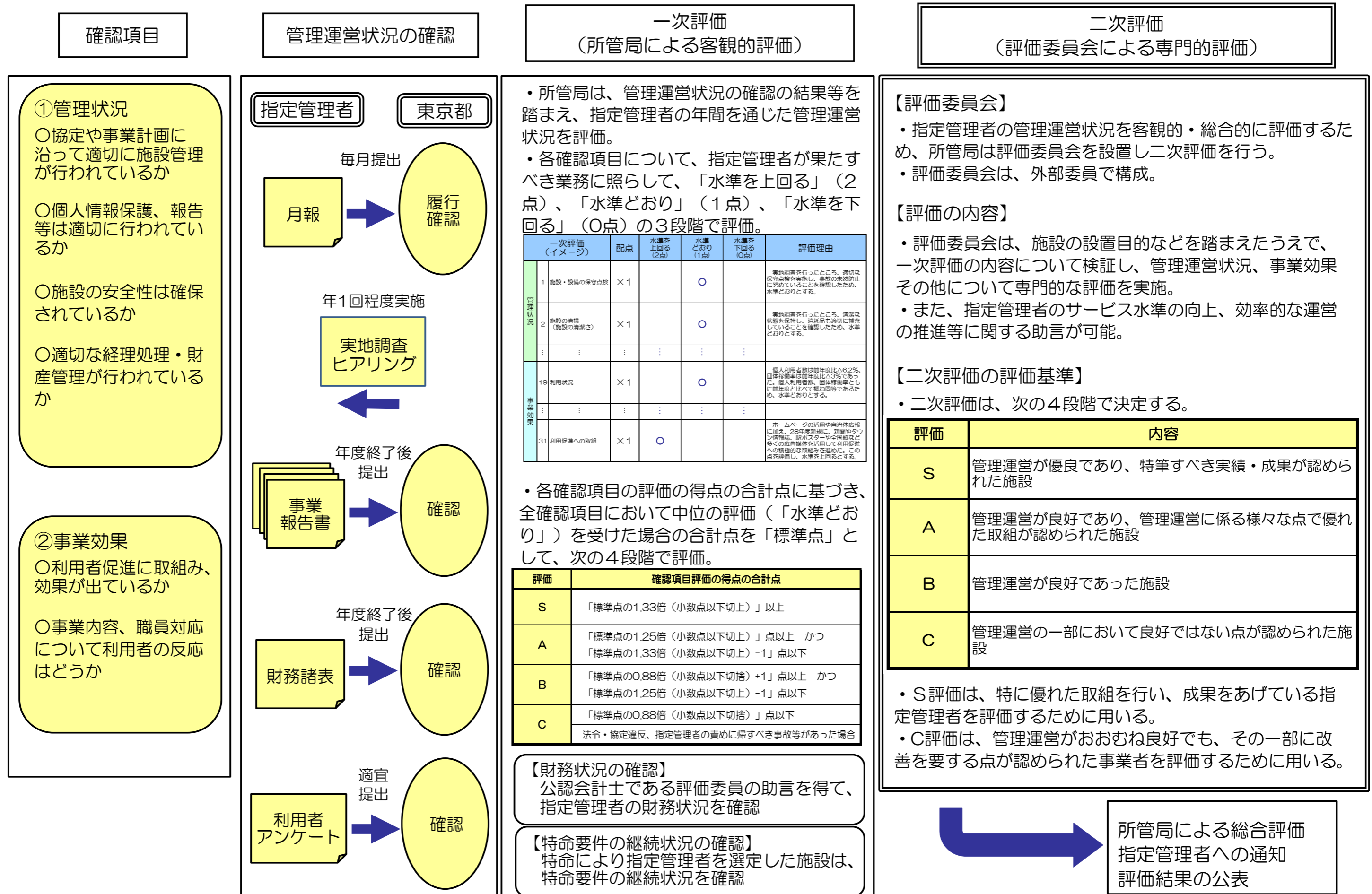
都立体育施設等指定管理者評価委員会委員名簿

	氏名	役職名
委員	守泉 誠	公認会計士
委員	小海 隆樹	日本女子体育大学教授
委員	丸山 正	公益財団法人日本レクリエーション協会 評議員
委員	上代 圭子	東京国際大学 人間社会学部 准教授
委員	二條 実穂	元車いすテニスプレーヤー 2016年 リオデジャネイロ パラリンピック ダブルス 4位入賞

対象施設及び指定管理者

施設名（所在地）	指定管理者名	指定期間
海の森水上競技場 （江東区海の森三丁目6番44号）	海の森水上競技場マネジメント共同企業体 （代表企業）一般財団法人公園財団 （構成団体）株式会社協栄 日建総業株式会社 野村不動産ライフ&スポーツ株式会社	令和元年6月1日から 令和5年3月31日まで
夢の島公園アーチェリー場 （江東区夢の島二丁目1番4号）	アメニス夢の島グループ （代表企業）株式会社日比谷アメニス （構成団体）日建総業株式会社 アズビル株式会社 株式会社日比谷花壇 株式会社グリーンバル 株式会社エコルシステム	平成31年4月1日から 令和5年3月31日まで
カヌー・スラロームセンター （江戸川区臨海町六丁目1番1号）	株式会社協栄	令和元年6月1日から 令和5年3月31日まで
大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場 （品川区八潮四丁目1番19号、 大田区東海一丁目2番1号）	アメニス海上南部地区グループ （代表企業）株式会社日比谷アメニス （構成団体）日建総業株式会社 太陽スポーツ施設株式会社 株式会社エコルシステム	令和元年7月10日から 令和5年3月31日まで
東京アクアティクスセンター （江東区辰巳二丁目2番1号）	事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ （代表企業）公益財団法人東京都スポーツ文化事業団 （構成団体）株式会社オーエンス セントラルスポーツ株式会社 公益財団法人東京都水泳協会	令和2年3月10日から 令和5年3月31日まで

指定管理者管理運営状況評価の流れ



所管局による一次評価結果報告（海の森水上競技場）

【一次評価結果】

得点	一次評価結果
36 点	B

標準点 ※1
31 点

評価基準 ※2	S	42点以上
	A	39点～41点
	B	28点～38点
	C	27点以下

- ※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。
 ※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
 「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
 「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
 「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
指定管理者のグループ内において、健全な団体がある一方で、新型コロナウイルス感染症の影響で赤字となっている団体があるため、今後の経営環境の推移に注視する必要がある。

管理状況	適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
	(1) 施設・設備の保守点検	×1	◎	(1) 利用者に配慮して年1回のポンツーン側面の清掃を毎月実施している。東京2020大会時は、組織委員会の求めに応じて通常の体制を変更し、大会期間中は24時間、施設・設備の保守点検・管理に対応できる体制を整備した。 (2) あらたに水質調査機器を令和3年度に購入するなど、良好な競技環境の確保に取り組んでいる。大会時は、組織委員会の求めに応じて通常の体制を変更し、東京2020大会期間中、早朝の水面清掃や柔軟なポンプ稼働を行うなど、良好な競技環境の確保に取り組んだ。 (3) 組織委員会の求めに応じて、大会期間中、清掃にかかる人員体制を増強した。 (5) 東京2020大会中は24時間施設に常駐するとともに、早朝から練習が始まる施設の特性を踏まえた人員体制を構築した。
	(2) プール施設・水上競技施設の管理	×1	◎	
	(3) 施設の清掃（清潔さ）	×1	◎	
	(4) 施設の警備	×1	○	
	(5) 人員配置	×1	◎	
	(6) 人材育成の取組	×1	○	
	(7) 施設の提供について	×1	○	
	法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
	(1) 個人情報保護の取組	×1	○	(1) 管理運営の基準に基づき、個人情報保護規則を策定している。また、責任者を明確化し、適切に管理している。コロナ対策の一つとして入館者に記載いただく「体調管理チェックシート」に個人情報の取り扱いを明記し、保存については鍵のかかる棚にて適切に実施した。 (6) 緊急連絡体制を整備し、事務所内の誰でもわかるよう掲示しており、緊急時は速やかに東京都及び関係機関に報告できる体制になっている。また、東京都の災害マニュアルに基づき海の森水上競技場危機管理マニュアルを策定しており、災害時の体制等を確立している。
	(2) 情報公開の取組	×1	○	
	(3) 環境配慮への取組	×1	○	
	(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
	(5) 利用記録等各種情報の管理	×1	○	
	(6) 都への報告・連絡	×1	○	
(7) 情報漏えい事故への対応	×1	○		
安全性の確保 施設の安全性は確保されているか	配点	評価	評価の内容	
(1) 施設・設備の安全性の確保	×1	◎	(1) 事務所スタッフによる毎日の巡回点検において早期発見、予防をしており、不具合箇所をこまめに報告し、修繕している。エレベーターや空調設備は年間保守契約を締結し、遠隔監視などで対応している。また東京2020大会中には、遮熱性舗装の剥がれについて、選手が踏んで怪我をするおそれがあるとの組織委員会からの指摘に迅速に対応して、緊急修繕を実施した。	
(2) 施設・設備管理に関する書類等の整理	×1	○		
(3) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○		
(4) 事故への対応	×1	○		
適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容	
(1) 収支状況（安定的な運営）	×1	○	(1) 財務状況は健全である。令和3年度は東京2020大会開催により指定管理料が増額となったが、適正な管理を行い収支状況は費目間の増減はあるがほぼ予算通りの執行となった。なお、東京2020大会含むオーバーレイ工事期間中の光熱水費、コロナ感染防止対応にかかる人件費の増分については、第4四半期で清算されている。	
(2) 経理処理	×1	○		
(3) 物品の管理	×1	○		
(4) 経理・現金に関する書類等の管理	×1	○		

事業効果	利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
	(1) 利用状況	×1	○	(1) 個人利用はなし。団体利用については、4月～翌2月は東京2020大会のための組織委員会、ポートアジア・オセアニア大陸予選の日本ポート協会による利用。3月は東京都による後施工事であった。
	事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
	(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	△	(1)(2) 東京2020大会により、年間を通じて実績がない場合は、評価を実施しない (3) 急遽開催することになった東京2020大会アジア・オセアニア大陸予選（ポート）をはじめ東京2020大会の準備から開催まで、早朝利用のニーズを踏まえスタッフの早朝勤務を行う、開場時間の延長に対応するなど大会運営に支障がないよう全面的に協力をした。また、感染予防対策を徹底的に実施し、満足度が上昇した。 (6) 本格再開前につきアンケートを実施できなかった施設については、評価を実施しない (9) 東京都発注工事、組織委員会の仮設オーバーレイ工事がそれぞれ安全な作業ができるよう協力した。加えて、東京都、組織委員会、指定管理者が参加する工事関係者の工程会議に出席し、工事車両の通行情報や通行止め等の情報を周知し、安全な施設利用を図った。また、東京都と共同で進めた競技コースの魚類対策についても、都度工事関係者と工程や作業場所を確認し、事故無く工事が進むよう努めた。 (10) 東京都のガイドラインに基づき海の森水上競技場感染拡大防止対策方針を策定し、当施設の利用者に安心して利用してもらった。また、東京2020大会については東京都及び組織委員会と連携し、各所の消毒や、更衣室の人数制限、利用者には当日の検温をするともに、スタッフのマスク着用、手洗いの徹底、事務所窓口には飛沫防止シートの設置など、感染拡大防止を図った。
	(2) 自主事業の実施状況	×1	△	
	(3) サービス向上に向けた取組	×2	○	
	(4) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×1	○	
	(5) 利用者ニーズの把握	×1	○	
	(6) 利用者の満足度	×1	△	
	(7) 苦情等への対応	×1	○	
	(8) 利用促進への取組	×1	○	
(9) その他	×1	○		
(10) 新型コロナウイルスへの対応	×1	○		

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

所管局による一次評価結果報告（夢の島公園アーチェリー場）

管理状況	適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか		配点	評価	評価の内容
	(1) 施設・設備の保守点検	×1	○	(1) 毎日清掃と兼ねて点検をしており、異常があれば随時報告を受けている。 (2) 当施設は水上施設ではないため、評価の対象としない。 (3) 令和3年度は、東京2020大会と大会後の一般開放に向けてメリハリをつけて実施した。 (4) 毎日巡回をしており、問題発生があった際には随時報告を受けているが、常駐をしている訳ではない。倉庫や分電盤は施設管理、管理事務所(夢の島熱帯植物館)は機械警備を実施。 (5) 東京2020大会において、試合前の事前点検の実施や緊急対応に備え、早朝からシフト体制を構築した。また、本社や構成企業から人員応援を要請し増員対応した。	
	(2) プール施設・水上競技施設の管理	×1	○		
	(3) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○		
	(4) 施設の警備	×1	○		
	(5) 人員配置	×1	◎		
	(6) 人材育成の取組	×1	○		
	(7) 施設の提供について	×1	○		
	法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか		配点	評価	評価の内容
	(1) 個人情報保護の取組	×1	○	(1) 保管期限が過ぎたものから随時処分している。個人情報の管理状況について、代表企業パークアライアンス本部による監査を毎年実施。内閣サイバーセキュリティセンターのJISPという情報共有システムを使用して、情報を入手している。 (3) アメニス夢の島グループとして、丸紅新電力(再生可能エネルギー)に契約変更。毎月、水光熱量を確認し、園内で漏水が発生した際は速やかに修繕を実施。	
	(2) 情報公開の取組	×1	○		
	(3) 環境配慮への取組	×1	○		
	(4) 各種法令等の遵守	×1	○		
	(5) 利用記録等各種情報の管理	×1	○		
(6) 都への報告・連絡	×1	○			
(7) 情報漏えい事故への対応	×1	○			
安全性の確保 施設の安全性は確保されているか		配点	評価	評価の内容	
(1) 施設・設備の安全性の確保	×1	○	(3) 事故対応マニュアル、気象災害計画書などを整備し、書面で事務所に保管し誰でも閲覧可能としている。屋外施設であるため、屋外用AEDボックスを設置。その他、夢の島熱帯植物館内のAEDも利用できる。防災訓練は夢の島熱帯植物館と合同で、避難訓練・消火訓練を2月24日に実施。消防設備点検は、年2回実施(令和3年度は9月・3月実施)。		
(2) 施設・設備管理に関する書類等の整理	×1	○			
(3) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○			
(4) 事故への対応	×1	○			
適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか		配点	評価	評価の内容	
(1) 収支状況（安定的な運営）	×1	○	(1) 利用者収入は計画よりも増えているが、公開に際して安全対策で使用する備品や消耗品などの購入費の他、東京2020大会に向けての白華除去費用がかかった。 (2) 委託作業等の請求書を電子上でやり取りするシステムを導入し、管理運営基準や提案書で定めていない経理処理の電子化を行った。		
(2) 経理処理	×1	◎			
(3) 物品の管理	×1	○			
(4) 経理・現金に関する書類等の管理	×1	○			

事業効果	利用状況 利用促進効果		配点	評価	評価の内容
	(1) 利用状況	×1	◎	(1) 施設運営計画の目標である年間20大会に対し、再開業後(11月から翌3月まで)の5か月間において、コロナ禍におけるイベント自粛やアーチェリー競技のオフシーズン(1月～2月)もある中、18件の団体利用の実績(12か月にならずと43件相当)を上げた。	
	事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか		配点	評価	評価の内容
	(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(2) 再開業イベントとして、アーチェリー体験会、タッチラグビー体験会、フライングディスク体験会、ミニアーチェリー体験会を実施。3月には、親子で楽しむヨガ教室、フライングディスク体験教室を実施。 (3) 東京2020大会期間は組織委員会の要望につき、早朝より芝刈りを実施。大会の直前に芝刈りを行うことを可能とし、組織委員会からも高い評価をいただいた。また日常のアーチェリーの使用に際しても、早い時間から準備をすることで前倒して試合を行うことができた。 (5) 夢の島公園アーチェリー場を安心安全に利用できる安全対策等について、他のアーチェリー場の利用状況を見学させてもらい意見交換を実施。アーチェリー以外での利用について、レクリエーション協会等の団体と意見交換を実施。令和3年度はアーチェリー競技会開催時の安全管理について多くの意見をいただき、会場周辺の閉鎖方法を利用団体の意見をもとに実施した。 (9) アメニス夢の島グループが管理している夢の島公園はもとより、隣接するBumB東京スポーツ会館とは、再開業イベント時に休憩所として連携。その他、新木場連絡会に出席し、公園や周辺地域と連携を推進している。	
	(2) 自主事業の実施状況	×1	○		
	(3) サービス向上に向けた取組	×2	○		
	(4) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×1	○		
	(5) 利用者ニーズの把握	×1	○		
	(6) 利用者の満足度	×1	○		
	(7) 苦情等への対応	×1	○		
	(8) 利用促進への取組	×1	○		
(9) その他	×1	○			
(10) 新型コロナウイルスへの対応	×1	○			

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

得点	一次評価結果
37点	B

標準点 ※1
34点

評価基準 ※2	S	46点以上
	A	43点～45点
	B	30点～42点
	C	29点以下

- ※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。
- ※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
指定管理者のグループ内において、健全な団体がある一方で、新型コロナウイルス感染症の影響で赤字となっている団体があるため、今後の経営環境の推移に注視する必要がある。

特命要件の継続状況
公園の指定管理者が、競技施設を含め、一体的に管理運営を行っている。維持管理の一本化などによって効率化を図るためには、公園と一体的に管理運営していく必要がある。

所管局による一次評価結果報告（カヌー・スラロームセンター）

管理状況	適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか		配点	評価	評価の内容
	(1) 施設・設備の保守点検	×	1	○	(2) 東京2020大会時、通常の運転方法から切り替え、ミリ単位の水位管理をし、大会が開催される日中に水位変動がないよう、夜間にろ過機の逆洗浄が行われるよう管理を行うなど、組織委員会と綿密に打ち合わせを行いながら、大会の円滑な運営に貢献した。また、揚水ポンプ不具合時に備え、不具合時を想定したマニュアルとフローを作成した上で、対応テストを実施し、管理スタッフが素早い対応をすることで、競技への影響を最小限にできるように備えた。 (3) 東京2020大会において、大会前にあらかじめ専門企業とテストを行った除藻薬を投入し清掃管理を行った。その結果、通常の管理基準と比較し苔を大幅に抑制し、大会関係者の好評を得た。
	(2) プール施設・水上競技施設の管理	×	1	◎	
	(3) 施設の清掃（清潔さ）	×	1	◎	
	(4) 施設の警備	×	1	○	
	(5) 人員配置	×	1	○	
	(6) 人材育成の取組	×	1	○	
	(7) 施設の提供について	×	1	○	
	法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか		配点	評価	評価の内容
	(1) 個人情報保護の取組	×	1	○	(1) プライバシーマークの社内規程に則り個人情報の保護を計画していたが、ISO27001に規格を変更した。ISO27001内の個人情報保護規程に従い、管理責任者を設置し個人情報の取扱いを行っている。個人情報保護方針については誰もがアクセスできるHPIに掲載している。 (3) 利用実態に合わせてろ過設備の自動逆洗及び自動給水を手動に変更することで、水道使用量を削減することができた。2021年7月のプール給水量は8,330立方メートルであるのに対し、手動給水を積極的に取り入れた8月の給水量は1,157立方メートルとなり、月間給水量は86%の削減となった。
(2) 情報公開の取組	×	1	○		
(3) 環境配慮への取組	×	1	◎		
(4) 各種法令等の遵守	×	1	○		
(5) 利用記録等各種情報の管理	×	1	○		
(6) 都への報告・連絡	×	1	○		
(7) 情報漏えい事故への対応	×	1	○		
安全性の確保 施設の安全性は確保されているか		配点	評価	評価の内容	
(1) 施設・設備の安全性の確保	×	1	○	(3) 災害対応マニュアル、東京都報告書【不具合・事故対応等】の内、不具合検知-対応フローなどから防災時の対応方法についてマニュアルを策定している。また、東京2020大会を踏まえて、雷の影響を大きく受けることがわかったため、管理運営基準には記載されていないが、雷予報を知らせるMicataサービスを導入した。	
(2) 施設・設備管理に関する書類等の整理	×	1	○		
(3) 防災への配慮・緊急時対策	×	1	○		
(4) 事故への対応	×	1	○		
適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか		配点	評価	評価の内容	
(1) 収支状況（安定的な運営）	×	1	○	(1) 光熱水費、維持管理費について、東京2020大会に係る費用を組織委員会への請求等により調整。年度としては大幅な相違はない。 (3) 貸与備品と調達備品は、それぞれ別のラックで保存、管理を行っている。	
(2) 経理処理	×	1	○		
(3) 物品の管理	×	1	○		
(4) 経理・現金に関する書類等の管理	×	1	○		

事業効果	利用状況 利用促進効果		配点	評価	評価の内容
	(1) 利用状況	×	1	○	(1) 東京2020大会の準備・撤去、及び後施工工事のため、個人利用の実施はない。団体利用については、4/1～11/30は東京2020大会の準備・撤去のため対象団体を限定した施設開放となったが、大会組織委員会・指定管理者・NFの利用で施設全体の団体利用稼働率は100%であった。12/1以降は東京都の後施工工事による休館となっている。
	事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか		配点	評価	評価の内容
	(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×	2	◎	(1) 東京2020大会により、年間を通じて実績がない場合は、評価を実施しない (3) 令和4年度の再開業に向けた準備を進めている。駐車場の設置に向け、調整を開始。また、令和4年度購入予定備品の精査を行っている。 (6) 本格再開業前につきアンケートを実施できなかった施設については、評価を実施しない (9) 葛西臨海公園と令和4年度の共催事業の打ち合わせを行った。公園内の「デザイン花壇でカヌーを漕ぐ」という企画に参加し、施設従業員が撮影に参加した。写真は葛西臨海公園のSNSや、園芸雑誌「グリーン情報vol.494」に掲載され、カヌーになじみが薄い方への施設PRを行った。葛西臨海公園、海浜公園、水族園、水上バス、近隣町内会、などと合同のテロ対策訓練や防災訓練などに参加した。 (10) 管理棟入口へ検温モニタを設置し、入場者自身で速やかにその時の検温ができるようにした。プレゲームトレーニングやJAPANトレーニングについて、コロナウイルスの影響で日程・実施方法の大幅な変更が生じたが、感染症対策や料金設定変更などの調整を綿密に組織委員会・都と行い、受け入れを実施した。また、密を避けるため、トレーニングスケジュールを綿密に組み、入退場時間の徹底や狭い陸地での動線区分けなどを検討、組織委員会、東京都と協議し、それを各国の選手に理解いただきながら実施した。
	(2) 自主事業の実施状況	×	1	○	
	(3) サービス向上に向けた取組	×	2	○	
	(4) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×	1	○	
	(5) 利用者ニーズの把握	×	1	○	
	(6) 利用者の満足度	×	1	○	
	(7) 苦情等への対応	×	1	○	
(8) 利用促進への取組	×	1	○		
(9) その他	×	1	○		
(10) 新型コロナウイルスへの対応	×	1	◎		

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

得点	一次評価結果
36点	B

標準点 ※1
32点

評価基準 ※2	S	43点以上
	A	40点～42点
	B	29点～40点
	C	28点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
経営財務上の問題はなく、事業者の健全性が確保されている。

所管局による一次評価結果報告（大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場）

管理状況

適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 施設・設備の保守点検	×1	◎	(1) 東京2020大会に向けて、組織委員会の求めに応じて施設・設備の保守点検をきめ細やかに実施したほか、大会前に施設を計画停電させて設備の異常の有無を総点検し、円滑な大会運営に貢献した。 (2) 当施設は水上施設ではないため、評価の対象としない (5) ホッケー場の専任は2名しかいないが、施設のことを理解しているスタッフが常駐しているように勤務シフトを組んでいる。東京2020大会において、試合前後の点検の実施や緊急対応に備え、早朝から夜間まで技術職員を配置するなど、シフト体制を構築した。 (7) 優先受付において、大会後に初めて施設を利用する団体に配慮し施設見学会を実施した結果、施設運営計画の目標である23大会を上回る34大会の誘致に成功した。
(2) プール施設・水上競技施設の管理	×1	◎	
(3) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(4) 施設の警備	×1	○	
(5) 人員配置	×1	◎	
(6) 人材育成の取組	×1	○	
(7) 施設の提供について	×1	◎	
法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 個人情報保護の取組	×1	○	(1) リスク分析を行い、日常の運用の中でどのようなことに気を付ければよいかチェックリスト化している。業務終了後は保管庫の施錠。電話番号付きの電話メモ等の処分もシュレッダー処理するよう徹底している。 (3) トイレや更衣室などの照明はセンサーによる自動点灯設定にしており、人の不在時には消灯となるようにしている。トイレには雨水を利用している。また、大井ふ頭中央海浜公園と一体で電力の100%再生可能エネルギー化を目指して事業者と打合せを進めている。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
(5) 利用記録等各種情報の管理	×1	○	
(6) 都への報告・連絡	×1	○	
(7) 情報漏えい事故への対応	×1	○	
安全性の確保 施設の安全性は確保されているか	配点	評価	評価の内容
(1) 施設・設備の安全性の確保	×1	◎	(1) 月次点検及び日常巡回点検で不具合が発見された場合は、自社で対応。補修不可時は速やかに設置業者に依頼し立会い実施。修理報告書を保管している。東京2020大会中、サブピッチの異臭発生等に迅速に対応し、円滑な大会実施に貢献した。
(2) 施設・設備管理に関する書類等の整理	×1	○	
(3) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(4) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 収支状況（安定的な運営）	×1	○	(1) コロナウイルスの影響で、日本代表合宿の利用は、年間で14日間のみあった。また、入国規制等もあり、プレゲームトレーニング（公式練習会）の実施や海外チームとの強化試合も中止となったが、通年では施設として収支赤字を出すことなく、適切な財務状況を保持した。 (2) 委託作業等の請求書を電子上でやり取りするシステムを導入し運用する等、経理処理の電子化について優れた取組を行った。
(2) 経理処理	×1	◎	
(3) 物品の管理	×1	○	
(4) 経理・現金に関する書類等の管理	×1	○	

事業効果

利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
(1) 利用状況	×1	○	(1) 組織委員会のオーバーレイ工事による予約、東京都の後利用等で、正規の貸し出し可能な期間はないが、組織委員会による優先予約を稼働と捉え、100%の稼働率としている。東京2020大会前に海外チームのプレゲームトレーニング（公式練習会）を予定していたが、コロナ禍で入国規制があり、中止となった。利用制限のある中、6日間のみ日本代表練習の利用ができた。
事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	◎	(1)(2)(4) 東京2020大会により、年間を通じて実績がない場合は、評価を実施しない。 (3) 東京2020大会前のわずかな期間ではあったが、日本代表チームの担当、組織委員会の担当、代表チームを送迎するバス会社の担当と情報共有を図り、入退場をスムーズに行えるよう、便宜を図った。 (6) 1団体のみ、かつ特殊な環境下での利用ではあったが、アンケートで好評を頂いた。 (9) 工事関係者と定期的に打合せを実施し、工事工程による動線等の変更に対し施設利用者にわかりやすく周知するように努めた。後利用工事の際には邪魔となる屋外備品の撤去・退避を行った。また、期限の短い依頼の植栽管理に対応した。 (10) 手指消毒剤の設置や水石鹸の用意はもちろん、新型コロナウイルス感染拡大防止に関する施設側の対応、及び、施設利用者（主催者）の感染防止策チェックリスト、参加者が順守すべき事項を伝えた上で、ご利用頂いている。また、施設内にはコロナ見守りサービスの掲示や更衣室内においてもソーシャルディスタンス確保、マスク着用、会話を控える等の掲示を行っている。
(2) 自主事業の実施状況	×1	◎	
(3) サービス向上に向けた取組	×2	○	
(4) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×1	○	
(5) 利用者ニーズの把握	×1	○	
(6) 利用者の満足度	×1	○	
(7) 苦情等への対応	×1	○	
(8) 利用促進への取組	×1	○	
(9) その他	×1	○	
(10) 新型コロナウイルスへの対応	×1	○	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

得点	一次評価結果
35点	B

標準点 ※1
30点

評価基準 ※2	S	40点以上
	A	38点・39点
	B	27点～37点
	C	26点以下

- ※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。
- ※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
経営財務上の問題はなく、事業者の健全性が確保されている。

特命要件の継続状況
公園の指定管理者が、競技施設を含め、一体的に管理運営を行っている。維持管理の一本化などによって効率化を図るためには、公園と一体的に管理運営していく必要がある。

所管局による一次評価結果報告（東京アクアティクスセンター）

管理状況

適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 施設・設備の保守点検	×1	◎	(1) 東京2020大会に向けて、組織委員会の求めに応じて施設・設備の保守点検をきめ細やかに実施した。大会を迎えるにあたっては、主な設備機器の定期点検を大会前に設定し、万全な状態で大会に臨んだ。 (2) 中央監視システムにより随時、水温、遊離残留塩素濃度、薬品残量の水質管理を行っている。加えて、実測でも室温、水温、遊離残留塩素濃度の水質検査を行い適切に管理している。東京2020大会に向けて、組織委員会の求めに応じて施設・設備の保守点検をきめ細やかに実施した。 (3) 東京2020大会後は、現状復旧をするにあたり数多くの清掃箇所を補助した。 (5) 東京2020大会中は通常の営業時間を超えて施設に駐在し緊急対応に備えたほか、早朝・深夜の対応ができるシフトを構築した。
(2) プール施設・水上競技施設の管理	×1	◎	
(3) 施設の清掃（清潔さ）	×1	◎	
(4) 施設の警備	×1	○	
(5) 人員配置	×1	◎	
(6) 人材育成の取組	×1	○	
(7) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 個人情報保護の取組	×1	○	(1) 個人情報の保護に関する規程に基づき、管理責任者を選任し、個人情報の取り扱いが適正に行われるよう管理している。また、年1回以上研修を実施し、個人情報保護の意識向上を図っている。令和3年度は、上記研修に加え、9月に「個人情報の取扱いに係る臨時研修」を実施し、研修後には理解度確認テストを行うなど、適正な取り扱いの徹底を図っている。 (3) 省エネルギー対策として、熱源機器はプール水の昇温のみとし必要最低限のエネルギー使用に努めている。状況に応じてプールろ過機を台数制御するなど省エネ運転を実施し、逆送回数の調整をしている。令和3年度6月よりグリーン電力による電気需給契約を開始したほか、事務用消耗品は再生紙100%を使用し、清掃用具は再生原料や環境面にやさしい洗剤等を使用している。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
(5) 利用記録等各種情報の管理	×1	○	
(6) 都への報告・連絡	×1	○	
(7) 情報漏えい事故への対応	×1	○	
安全性の確保 施設の安全性は確保されているか	配点	評価	評価の内容
(1) 施設・設備の安全性の確保	×1	◎	(1) 日常の巡回点検により、各設備機器の異常などの早期発見に努め、毎日の朝礼にて設備運転状況や不具合などの情報を共有し、適宜迅速に対応できる体制を整えている。点検時に故障・不具合が発見された場合は、設備職員による応急修理にて安全を確保したのち、業者等へ連絡し復旧対応を行っている。東京2020大会中、サブプールの排水管の水漏れ等に迅速に対応し、円滑な大会実施に貢献した。
(2) 施設・設備管理に関する書類等の整理	×1	○	
(3) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(4) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 収支状況（安定的な運営）	×1	○	(3) 東京都作成の「物品管理者別一覧表」に基づき、保有数と正常動作の確認を行い、適切な管理を行っている。指定管理者調達備品と都物品をシール貼付により区別し管理している。都民見学会における展示品の保管について、迅速に対応し困難な保管調整を行った。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	◎	
(4) 経理・現金に関する書類等の管理	×1	○	

事業効果

利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
(1) 利用状況	×1	○	(1) 個人利用は計画・実績なし。団体利用については、日本選手権水泳競技大会、テストイベントとして飛込ワールドカップ等を、施設利用時間の制限などを主催者に協力いただき、感染症対策を徹底して実施した。また、東京2020大会では、施設を万全な状態とするともに、組織委員会準備における要望等に対して柔軟に対応し大会成功に貢献した。
事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2		(1)(2)(4) 東京2020大会により、年間を通じて実績がない場合は、評価を実施しない (3) 開館時間の繰上、ろ過機の制御運転、水温及び室温の最適化など、大会主催者の求めに応える対応を図っている。東京2020大会では、使用備品の詳細な事前調整、使用備品以外の外部倉庫への搬出、大会中の選手エリアへの立入制限など、主催者要望に全面的に協力し、大会成功に貢献した。組織委員会と連携し、急遽トイレ設備等に英語表記を加え、視認性の向上を図り、快適な利用環境の整備に努めた。 (6) 本格再開前につきアンケートを実施できなかった施設については、評価を実施しない (9) 辰巳の森海浜公園と、工事・開館情報を共有し、一体となって都民サービスの提供に努めている。東京2020大会に向けたオーバーレイ工事や東京都改修工事について、各方面と調整を図り、指定管理業務と両立し工事が円滑に実施されるよう全面的に協力している。 (10) 「都立スポーツ施設等の再開館に向けた感染拡大防止ガイドライン」に基づき、当館利用時の感染拡大防止チェックリスト等をまとめ、大会主催者に周知し、適切な感染拡大防止の取組を図っている。職員についても日々の検温、体調確認、マスク着用及び手指消毒の徹底、執務環境の整備、オンラインによる会議・研修等に努め、状況に応じてテレワークを実施するなど、感染防止に取り組んだほか、東京2020大会期間中、一部職員について組織委員会が設定したバブル内で業務を行う必要が発生したため、感染対策（毎日のPCR検査や館内の行動制限等）に協力しつつ、安心安全な大会運営に貢献した。
(2) 自主事業の実施状況	×1		
(3) サービス向上に向けた取組	×2	○	
(4) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×1		
(5) 利用者ニーズの把握	×1	○	
(6) 利用者の満足度	×1		
(7) 苦情等への対応	×1	○	
(8) 利用促進への取組	×1	○	
(9) その他	×1	○	
(10) 新型コロナウイルスへの対応	×1	◎	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

得点	一次評価結果
37点	B

標準点 ※1
30点

評価基準 ※2	S	40点以上
	A	38点・39点
	B	27点～37点
	C	26点以下

- ※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。
- ※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
経営財務上の問題はなく、事業者の健全性が確保されている。

令和3年度の管理運営状況（海の森水上競技場）

指定管理者:海の森水上競技場マネジメント共同企業体

大項目	中項目	確認項目	特にアピールしたい点(具体的に)、改善点等
管理状況	適切な管理の履行	水上競技施設の管理	<ul style="list-style-type: none"> ●水面の安全管理には細心の注意を払い、動力船に乗船する者、水面付近を視察する者についてはライフジャケットの装着を義務付けるなど利用者の安全確保を徹底した。 ●東京2020大会期間（公式練習含む）中は施設設備の不具合など競技運営に支障が出ないよう、J/V本社や本部の協力を得ながら24時間体制で対応した。期間中、問題等は発生せず無事に大会は終了した。 ●東京2020大会の会場設営期間中および大会期間中（組織委員会の指定期間）、水門を閉鎖して水位を一定にするとともに、水質保持のための揚排水ポンプの稼働を実施し、常に安定した競技コース条件の確保を徹底した。また、日常点検、定期点検、臨時点検及び定期運転を実施し、常に良好な状態を維持した。 ●東京2020大会時には競技開始時間までの限られた中、早朝においては日の出とともに競技コースの水面清掃を行い、良好な競技環境の維持に努めた。競技コースの清掃状況について、各競技団体からもしっかりと管理されている旨の評価を頂いた。 ●毎日の施設巡回点検、毎月の安全点検パトロール及び適宜水上清掃を実施するとともに、競技場コース（2000m）周辺において200mおきに救命員BOXを設置し、落水等が発生した場合、速やかに救助活動を行えるよう安全管理に取り組んでいる。 ●東京都や組織委員会と調整のうえ暑熱対策としてミストシャワー装置を設置し、オリンピック期間中の稼働をおこなった。また、フロンター花壇と組み合わせることで会場に彩りを添えることができた。
		人材育成の取組	<ul style="list-style-type: none"> ●東京2020大会を踏まえ朝礼時において挨拶練習、手話、簡単な英会話練習を実施し、マナーアップの啓発を行った。 ●全スタッフが担当以外の業務も複数対応（マルチ化）できるよう、ミーティング等を繰り返し業務の効率化を行った。
		施設の提供について	<ul style="list-style-type: none"> ●競技団体へ競技大会開催の働きかけや、水域の利用が考えられる団体への営業を行なった。また、競技団体だけでなく、東京都が示しているユニークベニユーの有効利用の観点から、音楽イベントやその他団体の利用を促すような誘致を行った。 ※現在、令和4年度の施設利用促進に向け各競技団体（カヌー4件・ボート4件・トライアスロン2件）、その他団体3件の利用申込みが入っている。また、令和4年度4月の再開業に向け音楽イベント実施することになり、再開業を一気に盛り上げることになった。
	法令等の遵守	都への報告・連絡	●災害発生時の緊急連絡体制については、管理事務所内に掲示し速やかに対応できるようにした。
		情報漏えい事故への対応	<ul style="list-style-type: none"> ●東京2020大会会場であることを踏まえ、東京都、内閣府、警視庁及び組織委員会の警備部門などの指導や研修を受講した。サイバーセキュリティ対策の策定、情報システムやネットワーク等のセキュリティ強化、ネットワークを利用する全スタッフへのセキュリティ研修実施など、ハード・ソフト両面に対策を強化した。 ●また、東京都、警視庁及び内閣官房等が主催する研修や演習、リスク評価等に積極的に参加するなど関係機関との連絡体制構築やサイバーセキュリティに対する意識向上に努めた。
	安全性の確保	防災への配慮・緊急時対策	●東京2020大会の消防体制は組織委員会の消防体制に指定管理者が組み込まれる体制となり、大会前には消防機関の指導のもと、組織委員会と合同の消防訓練を行い有事に備えた。
事業効果	事業の取組み	スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ●早朝利用のニーズを踏まえ、管理者の早朝勤務を期間中実施。感染予防対策を徹底的に実施。満足度が上昇した。組織委員会からの要望を踏まえ、競技に支障のある場合の恒久施設の対応を想定し、東京2020大会の準備や競技期間については、24時間体制を整えて緊急事態に備えた。 ●ボートのアジアオセアニア大陸予選でも早朝の開場や開館のニーズがあったため、早朝ソフトを組み柔軟に対応した。 ●感染予防については、東京都や組織委員会と直前まで調整し、大陸予選や東京2020大会時に着実に実施した。なお、感染予防のため選手たちの施設滞在時間を避けた時間帯での作業を徹底した。
		利用者の満足度	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者ニーズを把握し、業務に反映させる方策としてアンケート調査を実施する予定であったが、今年度は東京2020大会の開催及びコロナ禍の影響により、アンケート調査を実施する状況ではなかった。しかしながら各IFをはじめとする各競技団体からしっかりと管理されているとの評価を頂いた。 ●R3年度は、東京2020大会準備や運営のため組織委員会の施設利用が中心であったが、東京2020大会後に近隣4区を対象にインターネットによるアンケート調査（ネットリサーチ）を実施し、利用者のニーズを把握した。この結果を踏まえ次年度以降の運営に反映させる予定である。
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ●当共同体構成団体が指定管理者となっているカヌー・スラロームセンターとの情報共有を行うとともに、再開業に向け江東区など周辺自治体との情報収集など地元の団体など連携強化を進めているところ。 ●また、海の森公園との連携を深めるため、港湾局海上公園課が事務局を担う海の森倶楽部に共同企業体の代表団体が加入し、海の森水上競技場と海の森公園の連携イベント等の実施など両施設が活性化されるよう連携を深めている。 ●海の森倶楽部に所属する音楽イベント事業者から、海の森公園と水上競技場を会場とした音楽イベントの優先受付の申し込みがあり、開催に向けて東京都オリパラ準備局や港湾局海上公園課と調整を続けている。

【作成上の注意事項】

・挙げていただく項目数に制限はありませんが、A4で1枚に収まるようご作成ください。

・ご提出いただいたプレゼンテーション資料は、評価委員会の会議資料として、後日、生活文化スポーツ局のHPに掲載します。

令和3年度 管理運営状況 (海の森水上競技場)

指定管理者： 海の森水上競技場マネジメント共同企業体

管理状況

適切な管理の履行 水上競技施設の管理



競技コース清掃
(東京2020大会期間中は早朝から競技開始前まで実施)

管理状況

適切な管理の履行 水上競技施設の管理



ポンツーンの縁に付着したカキガラ等の清掃

管理状況

安全性の確保 防災への配慮・緊急時対応



東京2020大会組織委員会との合同消防訓練



ミストシャワーと花壇を組み合わせた暑熱対策

事業効果

利用状況 団体利用状況

- ・ アジア・オセアニア大陸予選（ボート） 2021年5月5日（水）～5月7日（月） 総入場者数 2,519人



- ・ 東京2020オリンピック競技大会（ボート） 2021年7月23日（金）～30日（金）
- ・ 東京2020オリンピック競技大会（カヌー・スプリント） 2021年8月2日（月）～8月7日（土）
- ・ 東京2020パラリンピック競技大会（ボート） 2021年8月27日（金）～29日（日）
- ・ 東京2020パラリンピック競技大会（カヌー・スプリント） 2021年9月2日（木）～4日（土）

事業効果

事業の取組み 多様な利用者に配慮した案内・環境整備



外国からのお客様対応として外国語の翻訳機や外国語版のパンフレットのご用意

令和3年度の管理運営状況（夢の島公園アーチェリー場）

指定管理者: アメニス夢の島グループ

大項目	中項目	確認項目	特にアピールしたい点(具体的に)、改善点等
管理状況	適切な管理の履行	施設・設備の定期保守整備	芝刈り作業や定期設備点検など、管理運営基準に則り、必要な維持管理業務を実施した。 また、東京2020大会においては、大会組織委員会と密に情報連携を図り、早朝における草刈り作業など、大会日程を踏まえた柔軟な対応を行い、大会運営に全面的に協力した。
管理状況	適切な管理の履行	修理・修繕	東京2020大会前に発生した雨漏りについては、施工業者と連携の上、迅速な修繕対応を行った。会期中は降雨もあったが、大会への影響は発生しなかった。 また、射場の舗装が白華現象を起こしており、美観や反射の影響などが課題となったが、除去作業を断続的に実施し、東京2020大会前には対応を完了し、円滑な大会運営に貢献した。
管理状況	適切な管理の履行	人員配置	夢の島公園、夢の島熱帯植物館と同一の指定管理者で運営を行っており、10/31の再開業イベントにおいては、芝の保全や車の整理など公園管理の基本的なことから、植物館の展示物を活用したり、テントやディスプレイの設営に至るまで、グループの強みを活かし、利用者満足度の向上に繋げることができた。 また、日常的な管理運営においても、電話対応など、両者で連携の上、適切に対処した。
管理状況	適切な管理の履行	施設の提供について	上半期は、東京2020大会を控えた制限があった中、大会組織委員会の大会準備・運営に協力し、会場の良好な維持に努めた。 下半期は、10/31の再開業イベントを境に、一般供用を開始し、既存のアーチェリー団体の利用に加え、自主事業の展開やその他スポーツ（フライングディスク等）の誘致を行うなど、それぞれのニーズに合わせて会場の提供を行った。
管理状況	適切な管理の履行	設備の清掃（清潔さ）	清掃作業基準に則り、日々の清掃作業及び点検を実施し、報告を行った。
管理状況	安全性の確保	施設・設備の安全性の確保	下半期は、仮囲いが撤去された中、アーチェリー団体使用時の安全対策の実施と一般開放時の自由な芝生広場の提供を両立させて行った。
管理状況	安全性の確保	防災訓練の実施、消防設備点検	2/24に公園、植物館と合同で通報訓練・避難訓練を実施した。最終避難場所をアーチェリー場とし、避難訓練終了後、火災を想定した消火訓練を実施した。
管理状況	法令等の遵守	都への報告・連絡	東京2020大会期間中、選手送迎の運行バスが、公園の園路際の擁壁と接触する事故が発生したが、東京都に速やかに報告し、指示を仰いだ。 気象災害では、台風や降雪時などの施設損傷の有無などを適切に報告した。
事業効果	利用状況	利用状況	東京2020大会の他、全日本アーチェリー連盟、東京都アーチェリー協会、関東学生アーチェリー連盟等で15試合、22日間実施した。 コロナ感染症が爆発的に増加する中、感染症対策を徹底して実施した。 大会実施日以外では、芝生広場として、広く公園来場者に利用いただいた。
事業効果	事業の取組み	自主事業の実施状況	10/31、新規恒久施設で最初となる再開業イベントを実施した。天候には恵まれなかったものの、良好なアンケート結果をいただいた。また、夢の島熱帯植物館と連携し、ハロウィンにちなんだお化けカボチャをイベント会場に設置し、フォトスポットとして活用するなど好評を得た。 3/25、青空ヨガ教室を実施した。 3/30、フライングディスク体験教室を実施した。 3月以降、キッチンカーを招聘し、2社の自動販売機を設置することで、利用者サービスの向上を図った。
事業効果	事業の取組み	新型コロナウイルスへの対応	大会・イベント等では、検温の実施、体調管理シートの提出、アルコール除菌の徹底、コロナ見守りサービスへの登録案内など、基本的な注意事項をもれなく実施し、新型コロナウイルスの感染予防に努めた。

〔作成上の注意事項〕

- ・挙げていただく項目数に制限はありませんが、A4で1枚に収まるようご作成ください。
- ・ご提出いただいたプレゼンテーション資料は、評価委員会の会議資料として、後日、生活文化スポーツ局のHPに掲載します。

令和3年度 夢の島公園アーチェリー場 活動報告

10/31 オープニング体験会

アーチェリー以外の

夢の島公園アーチェリー場
オープニング体験会
 小雨 決行
 10/31 日曜日 入場無料
 10:30~16:30 要事前予約
 アーチェリー体験教室
 ミニアーチェリー体験
 タッチラグビー体験教室
 フライングディスク体験教室



オープニング体験会ではアーチェリー、ミニアーチェリーに加えて、フライングディスク、タッチラグビーなど幅広いスポーツを紹介した。
 生憎の天候であったが利用者の満足度を高められた。

3/25 親子で楽しむ青空ヨガ教室

夢の島公園アーチェリー場で
親子で楽しむ青空ヨガ教室
 親子といっても、もちろん一人での参加も大歓迎です！
 開催日: 3/25 金 10:30~11:30 定員30名
 参加費用: 大人1,000円 小学生以下無料
 フライングディスク体験教室



1~2月についてはコロナ感染症がピークでようやく3月に実施した。
 参加者には満足度を戴いた。

3/30 フライングディスク体験教室

夢の島公園アーチェリー場で
フライングディスク体験教室
 に参加してみませんか？
 開催日: 3/30 水
 午前の部: 10:00-12:00
 午後の部: 13:00-15:00
 フライングディスク体験教室



同じく3月に実施。懇意にしている東京都フライングディスク協会の協力により実現した。
 参加者には満足度を戴いた。

3/26,27 キッチンカーを招聘



3月26日、27日のアーチェリーの大会にキッチンカーを招聘。この時に実施した課題を踏まえて、
 ● 出店の位置、向き
 ● 事前のPOPでの告知
 ● 看板の位置
 等を改善し、継続してブラッシュアップを図り現在に至っている。

令和3年度の管理運営状況（カヌー・スラロームセンター）

指定管理者：株式会社協栄

大項目	中項目	確認項目	特にアピールしたい点(具体的に)、改善点等
管理状況	適切な管理の履行	施設・設備の保守点検	<ul style="list-style-type: none"> 〔日常管理・定期点検の徹底及び見える化の推進〕 ・機器の管理基準値を検針表に記載することや、メーター自体に印をつける等、『誰が検針をしても異常を確実に検知できる仕組み』での運用に加え、データは必要に応じてグラフ化し、視覚的に状況が把握できるようにした。使用量の把握や分析、過不足ない薬剤発注など効率的な管理に繋げた。 ・年間作業計画表を張り出すとともに、月毎、日毎にミーティングで、設備担当者全員に作業内容を共有した。その上で、屋外施設であることから、天候に左右されるものや状況に応じた調整をし、確実に実施した。点検結果は報告書にまとめ、誰でも見られるようデータ化、ファイリングをした。 〔設備点検マニュアルの整備による確実な作業の実施〕 ・各種点検作業の手順書やチェックリストを作成し、それに基づき点検を実施した。東京2020大会においては、電源切り替え工事、東京電力工事などイレギュラーな作業が発生したが、事前にマニュアルを作成し、それに基づき作業を行うことで確実に実施した。 〔常駐スタッフによる迅速な修繕対応〕 ・機器メーカーにレクチャーを受け、次亜供給ポンプの消耗品交換や不具合時、性能が落ちた際に、常駐スタッフで迅速に対応出来るよう作業の自社化を進めた。
		水上競技施設の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 〔衛生的な環境とハイレベルな競技レギュレーションへの対応〕 ・東京2020大会に備え、専門企業とフールの除染薬をテストし、それに基づき投入、管理を行うことで大会時には親水基準管理と比較し劣を大幅に抑制し、関係者に綺麗な施設として好評を得た。 ・東京2020大会において、ミリ単位の水位調整や揚水ポンプ不具合時を想定した対応など、ICFからの要求に対応するとともに、組織委員会を通して海外選手へ利用上の注意事項などを周知することで、支障なく競技に利用いただけた。 〔不具合時への備えによる休場の抑制〕 ・ボートコンヘアにおいて異常が発生した際に、メーカーに確認をしながら機器交換を自社で行った。日常からメーカーとの連携を密にすることで、機器への理解を深めるとともに、海外製品となることから納品に時間のかかる予備品の補充を行い、不具合発生時にも迅速に対応できるように備えた。 〔より利用しやすい環境の整備〕 ・フィニッシュアップオイルフェンスのたわみが大きく、利用エリアへ干渉していたことから、施工業者への確認を元にフェンス全長を縮め、最大振幅を約10mから約2mまで減少させた。 ・オイルフェンス陸揚、ボツーン調整等、換水期における作業項目や手順をより明確化することで、換水期の作業を効率的に進めた。
		施設の提供	<ul style="list-style-type: none"> 〔予定変更に対する適切な対応〕 ・コロナウィルスにより、東京2020大会関連のスケジュールが多々変更になったが、組織委員会内の定例打ち合わせにも積極的に参加するなど、都、組織委員会、競技団体など関係各所と競技、調整をすることで、各所のニーズを反映しながら施設条例に則り、施設提供を行った。 ・東京2020大会公式練習時に雷があった際に、施設管理者として組織委員会に進言、協議し、一時練習を見合わせていただくなど、安全に施設を提供した。 〔大型大会・イベントの誘致〕 ・受付スタッフはすべて英語対応可能なスタッフを配置し、東京2020大会においては、PGTなど海外選手が利用する全ての期間において、日本語と英語による場内アナウンスを実施した。今後も世界規模の大型大会を誘致できるよう体制を維持していく。 ・東京2020大会後、日本カヌー連盟にカヌー・スラロームNH-KK林を開催いただいた。開催にあたっては、東京2020大会撤去工事との調整やコロナ対策などカヌー連盟と綿密に打合せ実施に至った。
安全性の確保		施設・設備の保守点検	<ul style="list-style-type: none"> 〔使用、不使用に関わらない日常点検の徹底〕 ・日常点検を徹底することで、軽微な不具合をいち早く発見するとともに、常駐スタッフによる簡易修繕を推進することで、施設への理解も深めた。ボートコンヘアにおいては毎日使用はないが、日々点検したことで、異音を発見し、未然に重大な故障を防ぎ迅速に対応した。 ・年2回、コース周辺に発生しているクラックの状態を確認するとともにデータ化し、大きく進行しているものは業者補修を実施し、軽微なものは自社補修を実施した。
		防災への配慮・緊急時対策	<ul style="list-style-type: none"> 〔防災・防犯への積極的な備え〕 ・地震、台風発生時に現場確認と合わせ、チェックシートを用いることで確実な点検を行った。 ・突風を想定し、スピーカー設備を補強するための対策を講じた。そのほか、注意喚起のボードなどを必要に応じて作成し、英語表記も合わせて行った。 ・全従業員が普通救命講習を受講したほか、AEDについても実習を受け安全意識を高めた。 ・葛西臨海公園、近隣施設、地域との防災訓練に参加し、地域と一体に防犯意識の向上に努めた。 〔コロナウィルス対策〕 ・管理棟入口へ検温モニタを設置し、入場者自身で速やかにその時の検温ができるようにした。
事業効果	事業の取り組み	自主事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 〔東京2020大会開催に向けた安心安全なトレーニング環境の提供〕 ・フレグムストレーニングについて、コロナウィルスの影響で日程・実施方法の大幅な変更が生じたが、感染症対策や料金設定変更などの調整を綿密に組織委員会・都と行い、受け入れを実施した。 ・JAPANトレーニングについてもコロナウィルスの影響が生じたため、日本カヌー連盟の要望である日程変更及び実施回数増に際し、感染症対策や大会準備作業との利用調整を行った上で実施した。
		利用者ニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> 〔開業前アンケート及び事業者へのヒアリング〕 ・カヌー経験者を対象とした、個人使用の要望アンケートを実施し（オンライン）、個人使用の主な利用者層となるカヌー経験者を中心に343回答を得た。このアンケートからは曜日、時間帯、季節による繁閑の有無、また利用を希望される艇の種類等のデータを蓄積することができた。 ・競技団体、旅行会社、備品メーカー等に市況や利用者ニーズの聞き取りを行った。
		利用促進への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 〔施設ウェブサイトのリニューアル、PRや広報の拡大〕 ・活気のある施設を印象付けるため写真や掲載情報を増やし、施設ウェブサイトをリニューアルした。令和4年度6月に本格リニューアルをするため制作会社と準備を進めた。 ・施設利用者を増やすため、オンサイトで周辺連携の施策を進めるとともに、オフサイトでデジタルマーケティング実施のための下準備を行うほか、施設が提供するサービスのブランディングを行った。
		その他	<ul style="list-style-type: none"> 〔隣接する葛西臨海公園をはじめとする、近隣施設との取り組み強化〕 ・葛西臨海公園と定期的に情報交換の場を設け、相互事業への協力体制を強化した。 ・葛西臨海公園の花壇の写真撮影に従業員がカヌー選手として参加したほか、コロナウィルスで中止になったが水仙まつりにブース参加を計画した。次年度は共催事業を実施する方向で調整した。 ・公園内飲食店事業者や泉陽興業、葛西臨海公園駅高架下商業施設Ff、JR東日本などと、連携チケットや相互割引、広報協力などに取り組み、エリア一帯で盛り上がる仕組みを作っている。

〔作成上の注意事項〕

- ・挙げていただく項目数に制限はありませんが、A4で1枚に収まるようご作成ください。
- ・ご提出いただいたプレゼンテーション資料は、評価委員会の会議資料として、後日、生活文化スポーツ局のHPに掲載します。

令和3年度の管理運営状況（大井ホッケー競技場）

指定管理者：アメニス海上南部地区グループ

大項目	中項目	確認項目	特にアピールしたい点(具体的に)、改善点等
管理状況	適切な管理の履行	・施設・設備の保守点検	2020大会期間中は、競技開始時間1時間前から競技終了1時間後まで、待機。午前・午後・夜間と、1日3回の設備関係の巡回を行い、異常がないことを確認すると同時に、日中にメタンガス上限値の警報がならないよう深夜帯に予防対応を行った。東京都組織委員会と連携を図り、通行人の少ない時間帯でのハチの巣の除去やトイレの警報等の再発防止策（英語表記）などの改善を図った。
		・優先受付の実施	令和3年度における優先受付は、多目的利用に向けた初めての優先受付であった。そこで優先受付案内のほか、競技場における利用制限事項や2020大会後の後利用工事後のイメージを伝える説明会を開催した。また、フィールドの仕様が従前と変わっていることから、ホッケー以外の競技団体様向けに見学会も開催している。
		・施設の利用調整	優先受付分に関し、各競技団体の代表者の出席する調整会議を開催。希望日程が重複している場合に、優先順位の説明を行うとともに、特定の競技に偏らないよう配慮し、競技団体へ譲歩を促して、一定の満足を得られるようにした。各競技団体の皆さんは初対面であったため、会議の冒頭には、各競技の主な大会の年間スケジュール、トップシーズンなども確認しあい、会場確保の苦労や将来的なビジョンを語り合ったり、ちょっとした懇親の機会ともなった。
		・大型大会・イベントの誘致	ホッケーの主だった大会の申し込みを頂いているほか、ラクロスの大会も多く申し込みを頂いている。計画では23大会の誘致を想定していたが、それをはるかに上回る34大会の誘致ができた。その他競技では、タッチラグビーの講習会を自主事業として開催を予定している。
	適切な財務運営・財産管理	・経理処理のチェック体制 ・帳簿、関係書類の整備、保存	・ホッケー場の担当者と本社担当部門、経理部門とで情報共有し、チェックを行っている。 ・領収書や委託先からの請求書は電子帳簿システムを利用し、紙の削減や業務の効率化を図った。
事業効果	利用状況	・団体利用状況	組織委員会の2020大会準備・復旧工事による予約、東京都の後利用工事による休館等で、正規の貸し出し可能な期間はないが、組織委員会による優先予約を稼働と捉え、100%の稼働率としている。2020大会前に海外チームのPGT(公式練習会)を予定していたが、コロナ禍で入国規制があり、中止となった。利用制限のある中、14日間のみ日本代表練習の利用ができた。
	事業の取組み	・サービス向上に向けた取組	日本代表に利用頂けたのは、わずかな期間ではあったが、日本代表チームの担当、組織委員会の担当、代表チームを送迎するバス会社の担当の皆さんと情報共有を図り、2020大会に向け組織委員会の準備が進む中、入退場をスムーズに行えるよう、調整を図った。
・大規模工事への対応		工事関係者と定期的に打合せを実施し、工事工程による動線等の変更に対して、公園利用者の目線を意識し分かりやすく周知するように努めた。また、後利用工事の際に邪魔となる屋外備品の撤去・退避を行ったり、工事直前に依頼された植栽管理（草刈り・つる取り等）に対応した。そのほか、工事業者の利便性を図りつつ、施設の維持管理に支障が生じないよう日々調整を行った。	

〔作成上の注意事項〕

- ・挙げていただく項目数に制限はありませんが、A4で1枚に収まるようご作成ください。
- ・ご提出いただいたプレゼンテーション資料は、評価委員会の会議資料として、後日、生活文化スポーツ局のHPに掲載します。

令和3年度の管理運営状況（東京アクアティクスセンター）

指定管理者：事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ

大項目	中項目	確認項目	特にアピールしたい点(具体的に)、改善点等
管理状況	適切な管理の履行	施設・設備の保守点検	<p>○日常点検や定期点検等を実施し、日誌等で記録を残すことにより機器の些細な変化を速やかに把握するなど、監視体制を整え、故障や事故の未然防止に努めている。不具合等が生じた場合は、直ちに東京都へ報告し、連携して迅速に対応している。</p> <p>○東京2020大会や東京都による施設改修工事を踏まえ、各種点検等の年間業務実施計画を策定し、計画的かつ状況に応じた柔軟な対応を行った。これにより、東京2020大会前に機器等の正常稼働を確認し、万全な状態で大会を迎えた。大会後は、令和4年2月からの東京都による施設改修工事に向け、長期休館に伴う機器等の停止措置を適切に実施した。</p>
		プール施設の管理	<p>○プールの水質については、水温、遊離残留塩素濃度、薬品残量を、中央監視システム及び実測のクロスチェックにより、水質保持の徹底を図っている。</p> <p>○ろ過装置等の水質管理機器は1日2回の点検を行い、正常運転を維持し、プール水の浄化、前述の水質保持の徹底により、プール底が明瞭に見える透明度及び衛生的なプール環境の整備に努めた。東京2020大会では、選手などからプールの透明度についてお褒めの言葉をいただいている。</p>
		施設の警備	<p>○警備業務にあたっては昼夜4名以上の警備員が常駐し、入退場管理等の定位置警備、巡回、セキュリティカメラによる監視を組み合わせた警備体制を整えており、効果的かつ効率的な警備業務を行っている。東京2020大会時は、大会日程等に合わせ昼夜の人数を調整し、万全な体制のもと警備を実施した。</p> <p>○東京2020大会前には、警視庁サイバー攻撃対策センターによる障害発生時を想定した机上演習に参加し、障害の起因となる不審者・不審物の対応など物理的な面での対策について助言をいただき、体制の強化に繋ぐことができた。</p>
		施設の提供	<p>○東京2020大会組織委員会のオーバーレイ工事や東京都による施設改修工事について、指定管理業務と両立し工事が円滑に実施されるよう、定期的な連絡会による情報共有を図るなど、全面的に協力した。</p> <p>○日本選手権水泳競技大会、テストイベントとして飛込ワールドカップ等を開催した。開催に当たっては、開館時間の繰り上げ、機械設備の制御運転、水温及び室温の最適化など、大会主催者の求めに応える適切な対応を図った。</p> <p>○東京2020大会では、施設の事前の点検及び確認に努め、万全な状態とするとともに、大会前準備における組織委員会からの要望等に対して柔軟に対応し、全面的な協力を図った。大会本番についても、万全な体制のもと臨み、大会中の求めにも都と連携して適切に対応し、大会成功に貢献した。</p>
	安全性の確保	防災への配慮・緊急時対策	<p>○安心、安全な施設環境整備のため、消防設備点検及び自衛消防訓練を実施した。消防設備点検では、東京2020大会の仮設部も併せて点検し、館内全体の防災及び緊急時対策の徹底を図った。自衛消防訓練では、東京2020大会前に大会組織委員会と合同で実施し、指定管理者が消火栓の取扱いや避難誘導等のデモンストレーションを行い、大会ボランティア等に対して緊急時対応の育成を図った。</p> <p>○令和4年2月からの改修工事期間中は、工事エリアと指定管理エリアが混在するイレギュラーな状況であるため、防火管理の責任分界点や緊急時の連絡体制等について、東京都工事事業者と協議を重ね、施設の安全性が十分に確保できる体制整備に努めた。</p>
事業効果	事業の取組み	適切な財産管理運営・物品管理	<p>○物品の管理については、東京都物品と指定管理者調達物品とをシール貼付により明確に区別しているほか、「物品管理者別物品一覧表」等を用いて、数量や動作確認等の自己点検を実施するなど、物品管理を適切に行っている。</p> <p>○東京2020大会や改修工事対応のため、保管環境が整った外部倉庫へ物品を搬出した。精密機器となる競技用計時機器は、定期保守点検を実施し、正常動作を確認している。その他の備品等についても、月ごとに保管状況を確認し、常に現状把握に努めている。</p> <p>○改修工事に伴う長期休館に備え、工事による粉塵等の影響を鑑み、プールサイドタイル、観客席エリア、ダイビングタワー床面にビニール養生を施し、施設設備及び物品の保全に努めた。</p>
		その他 新型コロナウイルスへの対応	<p>○「都立スポーツ施設等の再開館に向けた感染拡大防止ガイドライン」に基づき、当館利用時の感染拡大防止チェックリスト等をまとめ、遵守事項の周知と徹底、入館時の検温と体調確認などを適切に実施した。特に、大会での利用の際には、主催者が行う感染対策を事前に確認し、ガイドラインに則した感染拡大防止の徹底に努めた。</p> <p>○職員についても日々の検温、体調確認、マスク着用及び手指消毒を徹底するとともに、執務環境の整備、オンラインによる会議等に努めるなど、感染防止に取り組んでいる。</p>

都立体育施設等指定管理者評価委員会 二次評価

施設名	海の森水上競技場
所在地	東京都江東区青海三丁目6番44号
指定管理者	海の森水上競技場マネジメント共同企業体
指定期間	令和元年6月1日から令和5年3月31日まで
評価対象年度	令和3年度

項目	評価の観点
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ボートなど困難な管理箇所が多い中、利用者が安全で快適に利用できるよう、法令や協定、事業計画に沿って、適正な管理運営を行っている。 ・東京2020大会のために設置された施設として、東京2020大会時、組織委員会の求めに応じた対応により、大会の円滑な運営に貢献した。 ・宿泊施設も併設しており、管理運営において、障がい者や子どもを持ったお母さんたちへの様々なきめ細かい配慮が為されている。 ・新たに水質調査機器を購入するなど、施設管理について良好な競技環境の確保に取り組んでいる。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピック会場として適正に事業が行われた。 ・現状は団体利用が中心となっているようであるが、最先端の技術が導入された施設であり、また観客席やラウンジなども整備されていることから、貸施設業での大きな収入が見込まれる。今後、運営が軌道に乗った後には、自主事業が多く実施されることを期待したい。
総合評価	B

〔記入方法〕

①「管理状況」「事業効果」の各項目について、評価の観点のコメントの記入をお願いいたします。

②総合評価について、各項目の状況から総合的に判断して、以下の4段階で評価の記入をお願いします。

- S : 管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
 A : 管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
 B : 管理運営が良好であった施設
 C : 管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全な施設利用を心がけて、施設の保守点検をしている。 ・大型スポーツイベントがスムーズに開催できるような管理運営がなされている。 ・ボート競技団体だけでなく、音楽イベント業者の利用を誘致することができた。
	改善が望まれる点	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業をより積極的に展開すべき。 ・ホームページのバリアフリー情報をもっとわかりやすく発信すべき。
	今後取組むべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニークな施設として、特徴のある集客手段を検討されたい。 ・自主事業をより一層企画されたい。 ・ボート競技以外の合宿など、宿泊利用の誘致を拡大されたい。 ・SNSの活用を推進されたい。

都立体育施設等指定管理者評価委員会 二次評価

施設名	夢の島公園アーチェリー場
所在地	東京都江東区夢の島二丁目1番4号
指定管理者	アメニス夢の島グループ
指定期間	平成31年4月1日から令和5年3月31日まで
評価対象年度	令和3年度

項目	評価の観点
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、東京2020大会施設として充実した管理を行い、東京2020大会の円滑な運営に貢献した。 ・利用者が安全で快適に利用できるよう、法令や協定、事業計画に沿って、評価水準通りに適正な管理を行っている。 ・アーチェリー場としてはもちろんのこと、普段は広大な芝生広場として利用されており、スポーツ実施者以外の利用についても考慮した管理運営がなされている。 ・東京2020大会期間中と、大会後の一般開放に向けてメリハリをつけて管理を実施し、都民の利用促進を図っている。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020大会期間及び大会後の一般利用について、問題なく事業を遂行した。 ・施設運営計画の目標である年間20大会に対し、再開後の5か月間において、コロナ禍におけるイベント自粛やアーチェリー競技のオフシーズンもある中、18件の団体利用の実績を上げた。また、体育施設利用料収入は計画を上回る収入を達成した。 ・アーチェリーの大会利用が中心となるが、その開催回数は多くないため、自主事業が収入アップのキーとなってくると考えられる。広大な芝生広場を擁し、ニュースポーツなど様々なスポーツが実施できることから、今後に期待したい。
総合評価	B

〔記入方法〕

①「管理状況」「事業効果」の各項目について、評価の観点のコメントの記入をお願いいたします。

②総合評価について、各項目の状況から総合的に判断して、以下の4段階で評価の記入をお願いします。

- S : 管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
- A : 管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
- B : 管理運営が良好であった施設
- C : 管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・東京2020大会期間中は、通常の営業時間を超えて施設に駐在し緊急対応に備えたほか、本社や構成企業に人員応援を要請し増員対応した。 ・レクリエーション協会等の利用団体と意見交換を実施しており、アーチェリー以外の利用についても考慮した管理運営がなされている。
	改善が望まれる点	<ul style="list-style-type: none"> ・広大な芝生広場を利用した自主事業をより積極的に展開すべき。 ・アーチェリー以外での利用について更なる誘致活動を実施すべき。 ・ホームページのバリアフリー情報をもっと分かりやすく発信すべき。
	今後取組むべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業をより一層企画されたい。 ・SNSの活用を推進されたい。

都立体育施設等指定管理者評価委員会 二次評価

施設名	カヌー・スラロームセンター
所在地	東京都江戸川区臨海町六丁目1番1号
指定管理者	(株)協栄
指定期間	令和元年6月1日から令和5年3月31日まで
評価対象年度	令和3年度

項目	評価の観点
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ろ過設備など困難な管理箇所が多い中、利用者が安全で快適に利用できるよう、法令や協定、事業計画に沿って、評価水準通りに適正な管理を行っている。 ・沓の抑制に努め、施設が清潔に保たれている。 ・カヌー・スラロームという特殊な環境で行われるスポーツ施設の持つ特性に沿いつつ、アクセスの良さを活かした管理運営がなされている。 ・東京2020大会時、組織委員会と綿密な打ち合わせを行いながら、大会の円滑な運営に貢献した。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・通年で東京2020大会の準備・開催・大会後の仮設物撤去等を行っていたが、プレゲームストレーニングやJPNトレーニングの実施に対応した。 ・今までは郊外の自然の中でのトレーニングを実施していたカヌー・スラローム利用者が、最先端のトレーニングができ、かつアクセスの良い当施設を団体利用することが見込まれる。ただし競技人口は多くないため、これらを当てにするだけでは収入に限りがあることから、競技人口を増やす意味でも、個人参加の自主事業が展開されることを期待したい。
総合評価	B

〔記入方法〕

①「管理状況」「事業効果」の各項目について、評価の観点のコメントの記入をお願いいたします。

②総合評価について、各項目の状況から総合的に判断して、以下の4段階で評価の記入をお願いします。

- S : 管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
- A : 管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
- B : 管理運営が良好であった施設
- C : 管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・施設を清潔に保つ努力をしている。 ・競技特性に沿った特殊な施設の管理がスムーズに行われている。 ・利用実態に合わせて、ろ過設備の自動逆洗及び自動給水を手動に変更し、水道使用量を削減することができた。 ・競技だけではなく、その他のアクティビティにも利用可能な当施設について、積極的な情報発信を進めている。
	改善が望まれる点	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者を増やすためにも自主事業の展開について工夫すべき。 ・ホームページについて、アクセシビリティ設備情報だけでなく、各施設内や施設までの導線の情報を追加すべき。また、写真を追加すべき。
	今後取組むべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニークな施設として、特徴のある集客手段を検討されたい。 ・自主事業について、様々な工夫を実施されたい。 ・他の施設と連携しての集客を推進されたい。

都立体育施設等指定管理者評価委員会 二次評価

施設名	大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場
所在地	東京都品川区八潮4丁目1番19号及び大田区東海一丁目2番1号
指定管理者	アメニス海上南部地区グループ
指定期間	令和元年7月10日から令和5年3月31日まで
評価対象年度	令和3年度

項目	評価の観点
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安全で快適に利用できるよう、施設・設備の安全確保に努め、また、法令や協定、事業計画に沿って、評価水準通りに適正な管理を行っている。 ・東京2020大会のために設置された施設として、組織委員会の求めに応じて施設・設備の保守点検をきめ細やかに実施し、東京2020大会の円滑な運営に貢献した。 ・団体利用が中心となる施設であるが、観客席の維持管理も行われ、するスポーツ・みるスポーツ両面での利用において、快適な環境が整えられている。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピック会場として適正に事業が行われた。 ・利用者ニーズの把握と反映を行っている。 ・施設名は「ホッケー競技場」となっているが、ラクロスやタッチラグビーなど様々なスポーツでの利用が可能となっており、多くの大会が開催される。他にも個人で参加できるようなイベントの開催もしており、利用者増＝競技人口増に寄与するような取組みが期待される。
総合評価	B

【記入方法】

①「管理状況」「事業効果」の各項目について、評価の観点のコメントの記入をお願いします。

②総合評価について、各項目の状況から総合的に判断して、以下の4段階で評価の記入をお願いします。

- S : 管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
- A : 管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な面で優れた取組が認められた施設
- B : 管理運営が良好であった施設
- C : 管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・優先受付時の施設見学会を実施して、利用者増を図った。 ・団体利用が中心となる施設であるが、観客席も維持管理され、「するスポーツ」及び「みるスポーツ」両面での利用において、快適な環境が整えられている。 ・ホッケー以外の競技団体への誘致活動も行っている。
	改善が望まれる点	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの回答数を増やす努力をすべき。 ・自主事業をより多く開催することで、個人利用を促進すべき。 ・ホームページの改善によって、施設全体の情報が伝わりやすいようにするとともにバリアフリー情報をもっと分かりやすく発信すべき。
	今後取組むべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・日本のホッケーチームが世界的にも非常に力をつけており、一般への普及と利用者の底上げに係る各種施策に取り組まれない。 ・自主事業をより一層企画されたい。 ・SNSの活用を推進されたい。

都立体育施設等指定管理者評価委員会 二次評価

施設名	東京アクアティクスセンター
所在地	東京都江東区辰巳二丁目2番1号
指定管理者	事業団・オーエンス・セントラルスポーツ・都水協グループ
指定期間	令和2年3月10日から令和5年3月31日まで
評価対象年度	令和3年度

項目	評価の観点
管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安全で快適に利用できるよう、施設・設備の安全を図り、また、法令や協定、事業計画に沿って、評価水準通りに適正な管理を行っている。 ・東京2020大会に向けて、組織委員会の求めに応じて施設・設備の保守点検をきめ細やかに実施し、東京2020大会の円滑な運営に貢献した。大会を迎えるにあたり、主な設備機器の定期点検を行った。 ・東京2020大会を契機として東京に設立された水泳競技施設として、現状、スムーズな管理運営がなされている。国際大会をはじめとする沢山のイベントが開催されることが期待される。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は東京2020大会の準備・開催・大会後の仮設物撤去等のため通年で一般の利用が中止されている中での事業。 ・辰巳の森海滨公園と、工事・開館情報を共有し、安全な工事実施に努めている。 ・様々なスポーツイベントの開催など、団体利用が中心となるが、最先端の技術が導入された施設であり、貸施設業での大きな収入が見込まれる。今後、運営が軌道に乗った後は、自主事業が多く実施されることを期待したい。
総合評価	B

〔記入方法〕

①「管理状況」「事業効果」の各項目について、評価の観点のコメントの記入をお願いいたします。

②総合評価について、各項目の状況から総合的に判断して、以下の4段階で評価の記入をお願いします。

- S : 管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
- A : 管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な面で優れた取組が認められた施設
- B : 管理運営が良好であった施設
- C : 管理運営の一部において良好ではない点が認められた施設

特記事項	特に評価すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・施設、設備の安全性確保に努めている。 ・東京2020大会中は通常の営業時間を超えて施設に駐在し緊急対応に備えたほか、早朝・深夜の対応ができるシフトを構築した。 ・大型スポーツイベントがスムーズに開催できるような管理運営がなされている。
	改善が望まれる点	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業をより積極的に展開すべき。 ・ホームページについて、アクセシビリティ設備情報だけでなく、各施設内や施設までの導線の情報を追加すべき。
	今後取組むべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業をより一層企画されたい。 ・SNSの活用を推進されたい。 ・ホームページについて、今後、写真を追加することで、バリアフリー情報を充実されたい。

都立体育施設等指定管理者評価委員会設置要綱

20生文ス計第300号
平成20年7月1日

最終改正 令和4年7月1日 4生施調第241号

(設置)

第1 東京都体育施設条例（平成元年東京都条例第109号）第16条及び東京都障害者スポーツセンター条例（昭和59年3月31日東京都条例第24号）第16条の規定により指定した指定管理者が管理を行う東京都の体育施設及び障害者スポーツセンターの管理運営状況等を評価し、適正な管理を確保することを目的として、都立体育施設等指定管理者評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2 委員会は、指定管理者の年間の管理運営状況等について、東京都生活文化スポーツ局スポーツ施設部が行う一次評価を踏まえ、指定管理者の評価に関する事項を所掌する。

(組織)

第3 委員会は、委員長及び委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者とする。

- (1) 経営並びに財務及び会計に識見を有する者のうち、東京都生活文化スポーツ局長（以下「局長」という。）が委嘱する者
- (2) スポーツ振興に識見を有する者のうち、局長が委嘱する者
- (3) 利用者を代表する者のうち、局長が委嘱する者
- (4) スポーツ施設のマネジメントに識見を有する者のうち、局長が委嘱する者
- (5) パラスポーツに識見を有する者のうち、局長が委嘱する者

(委員長)

第4 委員会に委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選により選出する。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長が指定する委員がその職務を代理する。

(委員の任期)

第5 委員の任期は、委嘱の日からその日の属する年度の末日までとする。ただし、再任を妨げない。

(会議)

第6 委員会は、東京都生活文化スポーツ局スポーツ施設部長が招集する。

2 委員長は、会議の議長となる。

(公開等)

第7 委員会の審議は公開で行うものとする。ただし、委員長は、委員会に諮ることによりその全部又は一部を非公開とすることができる。

2 委員会の議事録及び会議資料は公開するものとする。ただし、委員長は、委員会に諮ることにより、議事録を議事要旨による公開とし又は会議資料の全部若しくは一部を非公開

とすることができる。

(意見聴取)

第8 委員長は、必要があると認める場合は、委員以外の者を参考人として委員会に出席させ、意見を聴くことができる。

(守秘義務)

第9 委員及び参考人は、委員会を通じて知り得た情報を公表してはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(審議の特例)

第10 委員長は、やむを得ない事情により委員の過半数が一堂に会することが困難であると認めるときは、電子メール、書面その他の方法により審議を行うことができる。

(庶務)

第11 委員会の庶務は、東京都生活文化スポーツ局スポーツ施設部において処理する。

(雑則)

第12 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、局長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成20年7月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成22年7月16日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年6月13日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年1月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年6月26日から施行する。

附 則

この要綱は、令和2年7月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和4年7月1日から施行する。